

# 令和6年度（2024年度）熊本県エイズ対策会議

日時：令和7年（2025年）1月21日（火）

午後6時30分～午後8時

場所：熊本県庁 防災センター1階 101会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 題

（1）HIV感染者・エイズ患者等の状況（全国、熊本県）

資料1

（2）熊本県におけるエイズ対策について

資料2

（3）意見交換

### 3 閉 会

令和6年度(2024年度)熊本県エイズ対策会議 出席者名簿

構成	所属等	職名	氏名
学識経験者	熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター	特任教授	松下 修三
	熊本保健科学大学 保健科学部	特任教授	前田 ひとみ
医療関係等	公益社団法人熊本県医師会	理事	三淵 浩
	一般社団法人熊本県歯科医師会	理事	工藤 智明
	公益社団法人熊本県看護協会	副会長	永野 智子
	熊本大学病院 (エイズ治療中核拠点病院)	感染免疫診療部 准教授	中田 浩智
	熊本市立熊本市民病院 (エイズ治療拠点病院)	感染症内科 科長	岩越 一
	独立行政法人国立病院機構熊本医療センター (エイズ治療拠点病院)	血液内科 副部長	原田 奈穂子
	平山泌尿器科医院	理事長	平山 英雄
	エイズカウンセラー(臨床心理士)		江崎 百美子
高校養護関係	熊本県高等学校保健会 養護教諭部会	副部長	鶴田 郁子
行政関係	熊本市健康福祉局保健衛生部感染症予防課	課長	木村 仁洋
	熊本県総務部総務私学局私学振興課	参事	堂前 房代理 (代理)
	熊本県子ども・障がい福祉局子ども未来課	審議員	緒方 雅一 (代理)
	熊本県教育庁県立学校教育局体育保健課	課長	濱本 昌宏
	熊本県阿蘇保健所	部長	劔 陽子

事務局	熊本県健康福祉部	医監	池田 洋一郎
	熊本県健康福祉部健康危機管理課	課長	弓掛 邦彦
		審議員	田副 勝裕
		主幹	嶋田 敬英
		主事	内山 えみり
		主事	梅崎 大智

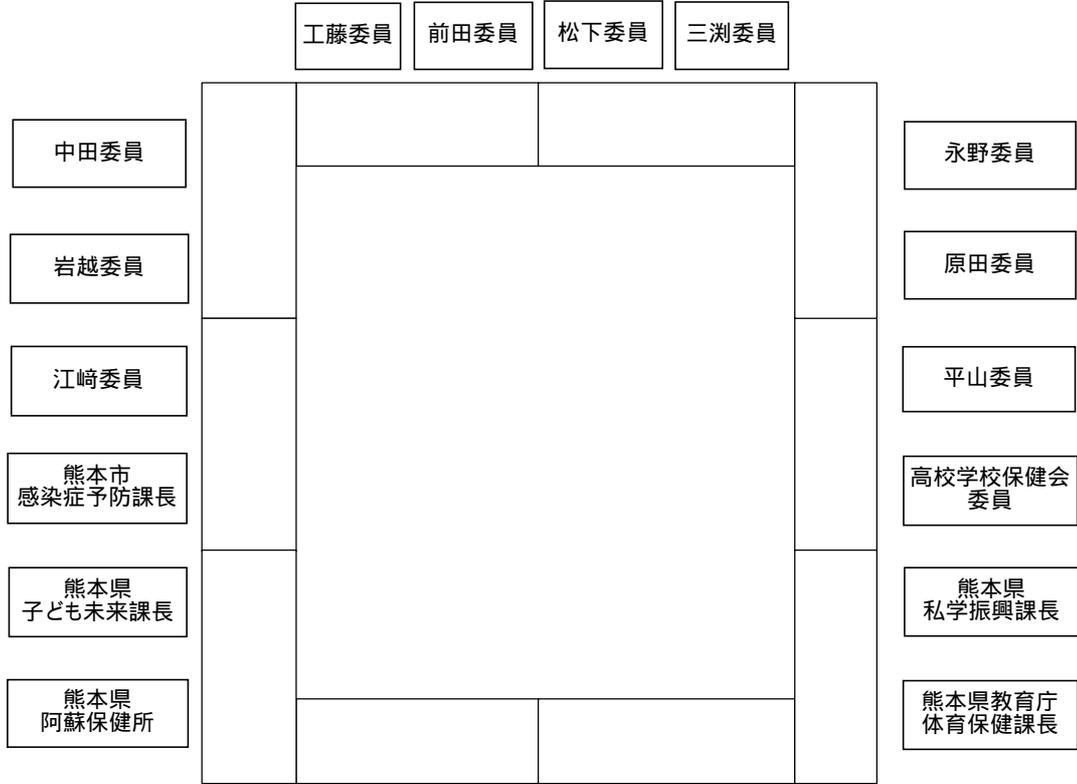
オブザーバー

医療機関	熊本大学病院	看護師	高木 雅敏	
		看護師	宮本 祐輔	
		薬剤師	田上 直美	
		薬剤師	高林 学	
		MSW	小林 諒備	
保健所	熊本県有明保健所	技師	内田 智美	オンライン出席
	熊本県山鹿保健所	技師	今村 由香	オンライン出席
	熊本県菊池保健所	技師	内賀嶋 由梨	
	熊本県阿蘇保健所	参事	岡田 賢太郎	
	熊本県御船保健所	技師	川田代 怜美	
	熊本県宇城保健所	技師	釜 美和	
	熊本県八代保健所	主任技師	白石 さくら	
		技師	川口 優羽	
	熊本県水俣保健所	主任技師	田口 理紗子	オンライン出席
	熊本県人吉保健所	主任技師	嶋村 香奈子	オンライン出席
	熊本県天草保健所	主任技師	谷藤 有加	オンライン出席
	熊本市健康福祉局保健衛生部感染症予防課	技師	平田 珠杏	
関係課	熊本県子ども・障がい福祉局子ども未来課	課長補佐	三宅 あゆみ	

# 熊本県エイズ対策会議 座席図

令和7年(2025年)1月21日(火)  
 午後6時30分～午後8時  
 県庁 防災センター1階 101会議室

出入口



出入口



## 熊本県エイズ対策会議設置要領

### (設置)

第1 熊本県内における後天性免疫不全症候群(以下「エイズ」という。)対策に関する事項を協議するため、熊本県エイズ対策会議(以下「会議」という。)を置く。

### (協議事項)

第2 会議は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) エイズについての情報に関すること。
- (2) エイズについての知識の普及、啓発に関すること。
- (3) エイズの医療に関すること。
- (4) 関係行政機関及び関係団体との連携調整に関すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、第1の目的を達成するために必要なこと。

### (構成)

第3 会議は委員20人以内をもって構成する。

2 委員は学識経験者及び医師、関係行政機関、エイズ拠点病院、関係団体等の職員のうちから健康福祉部長が依頼する。

### (運営)

第4 会議に座長を置く。

- 2 座長は、委員の互選により選出し、会議を主宰する。
- 3 座長に事故があるときは、あらかじめ座長が指名した委員がその職務を代理する。

### (会議)

第5 会議は必要に応じて健康福祉部長が招集する。

### (庶務)

第6 会議の庶務は、健康福祉部健康危機管理課において行う。

### (その他)

第7 この要領に定めるもののほか、会議の運営について必要な事項は、健康福祉部長が定める。

### 附 則

この要領は、平成4年5月29日から施行する。

この要領は、平成8年6月24日から施行する。

この要領は、平成9年4月1日から施行する。

この要領は、平成15年4月1日から施行する。

この要領は、平成21年2月4日から施行する。

# 全国のHIV感染者・エイズ患者等の状況 - 1

## [HIV感染者・エイズ患者の新規報告数]

令和6年(2024年)12月末現在

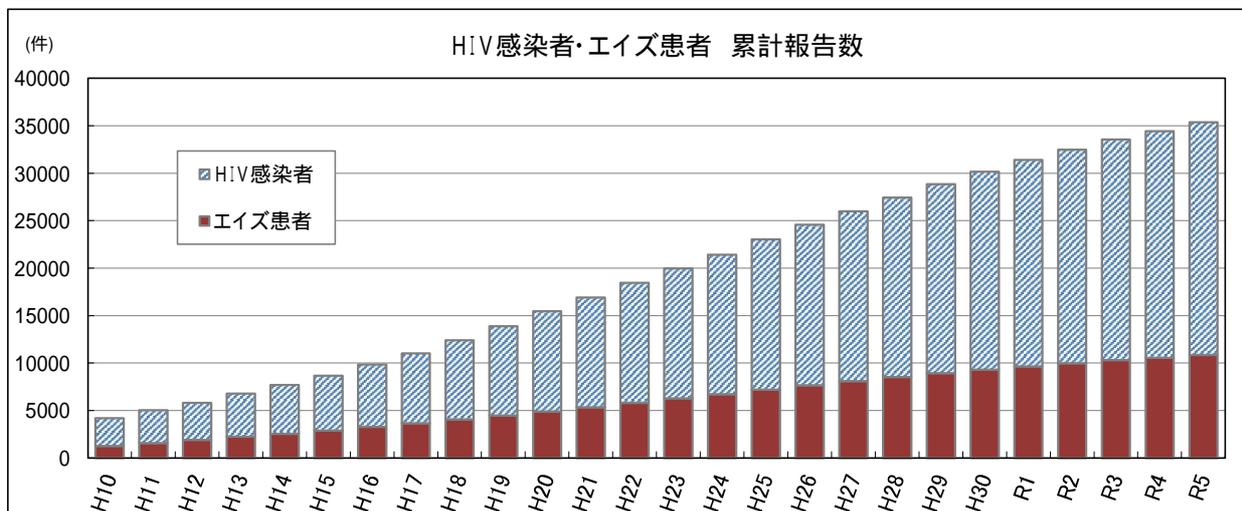
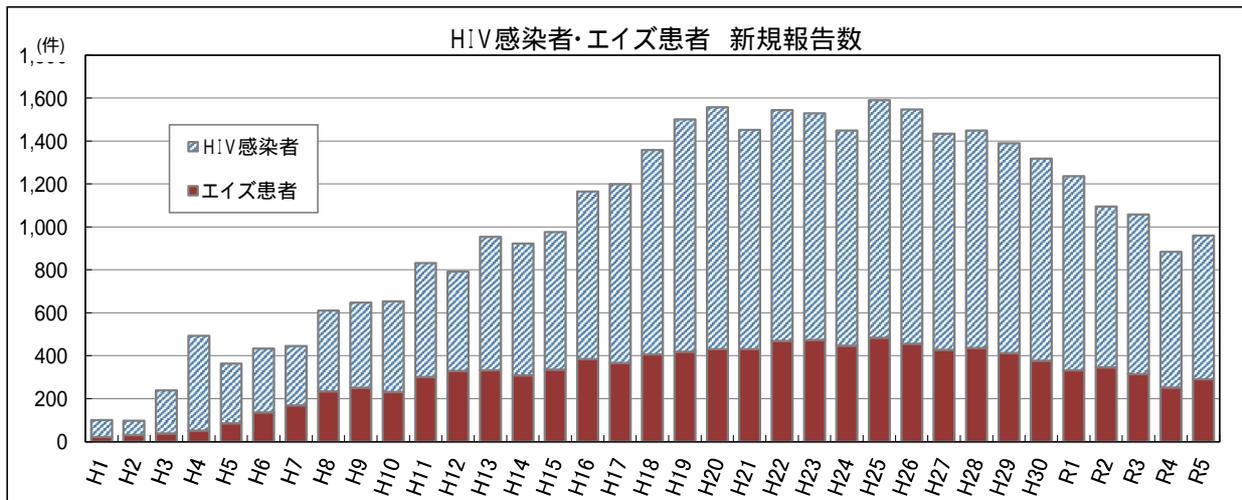
	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
HIV感染者	80	66	200	442	277	298	277	376	397	422	530	462	621	614
エイズ患者	21	31	38	51	86	136	169	234	250	231	301	329	332	308
合計	101	97	238	493	363	434	446	610	647	653	831	791	953	922

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
HIV感染者	640	780	832	952	1,082	1,126	1,021	1,075	1,056	1,002	1,106	1,091	1,006	1,011
エイズ患者	336	385	367	406	418	431	431	469	473	447	484	455	428	437
合計	976	1,165	1,199	1,358	1,500	1,557	1,452	1,544	1,529	1,449	1,590	1,546	1,434	1,448

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
HIV感染者	976	940	903	750	742	632	669	324
エイズ患者	413	377	333	345	315	252	291	174
合計	1,389	1,317	1,236	1,095	1,057	884	960	498

R6は6月末(第2四半期)までの報告数

令和5年の新規HIV感染者は669人であり、ここ数年減少していたが、令和4年から37人増加した。  
 令和5年の新規エイズ患者は291人であり、ここ数年減少していたが、令和4年から39人増加した。  
 令和5年の新規報告件数に占めるエイズ患者の割合は30.3%（直近5か年：29.4%）



## 【保健所等におけるHIV抗体検査・相談件数】

自治体が実施する保健所以外の検査件数を含む。

令和6年(2024年)12月末現在

	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
検査件数	7,864	10,649	10,980	135,674	116,712	81,495	57,978	72,186	46,237	53,218	48,218	48,754	69,925	61,652
相談件数	14,603	17,458	18,002	251,926	245,299	175,837	124,735	172,641	96,735	111,046	103,206	107,266	141,269	108,911

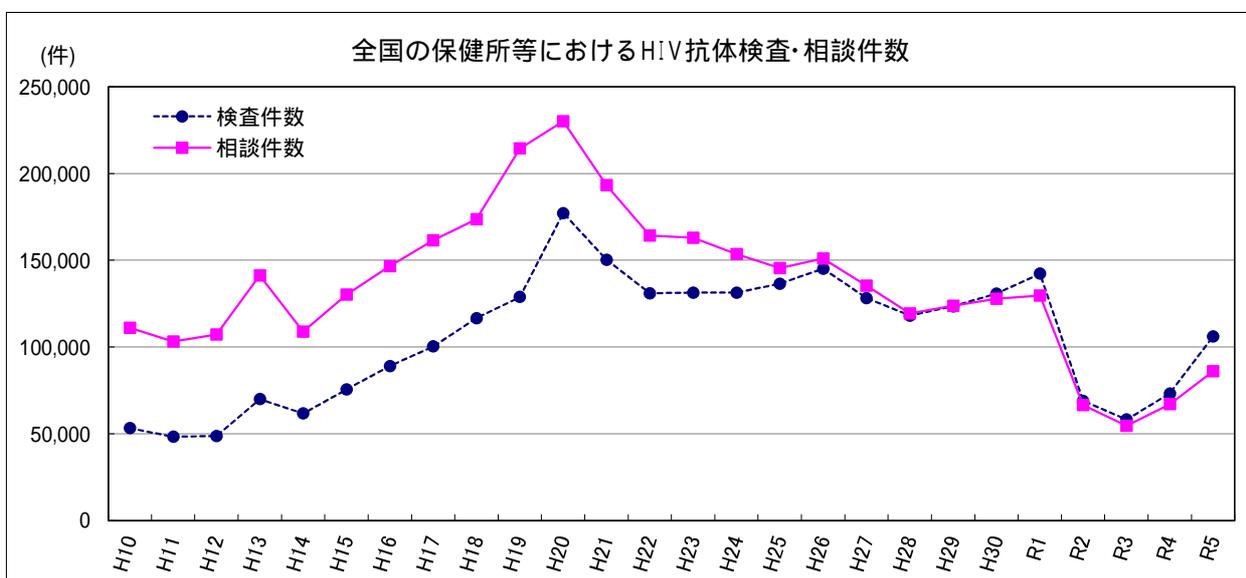
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
検査件数	75,539	89,004	100,287	116,550	128,819	177,156	150,252	130,930	131,243	131,235	136,400	145,048	128,241	118,005
相談件数	130,153	146,585	161,474	173,651	214,347	230,091	193,271	164,264	163,006	153,583	145,401	150,993	135,282	119,378

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
検査件数	123,432	130,759	142,260	68,998	58,172	73,104	106,137	51,696
相談件数	123,768	127,830	129,695	66,519	54,551	67,009	86,088	40,601

R6は6月末(第2四半期)までの報告数

令和5年の検査件数は106,137件であり、令和4年から33,033件増加した。

令和5年の相談件数は86,088件であり、令和4年から19,079件増加した。



# 全国のHIV感染者・エイズ患者の状況 - 2 (令和5年)

エイズ動向委員会報告値

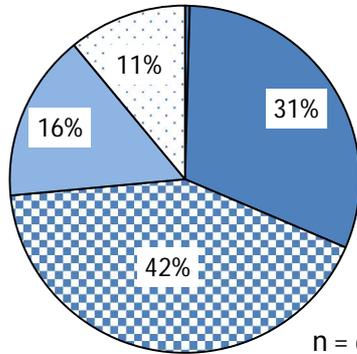
## 1 HIV感染者・エイズ患者の年齢階級別報告数

年齢階級	HIV感染者	エイズ患者	合計	割合
20歳未満	3	0	3	0.3%
20～29歳	207	37	244	25.4%
30～39歳	281	89	370	38.5%
40～49歳	104	81	185	19.3%
50歳以上	73	83	156	16.3%
不明	1	1	2	0.1%
合計	291	960	960	

HIV感染者では、20歳代・30歳代が最も多く、次に40歳代が続く。

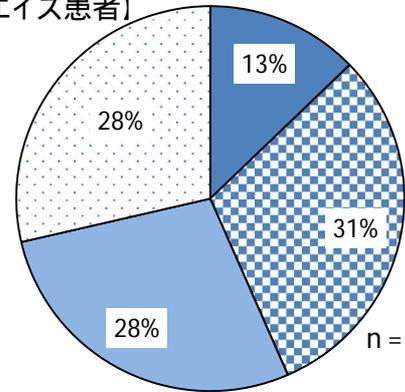
エイズ患者では、30歳以上が多い。

【HIV感染者】



n = 669

【エイズ患者】

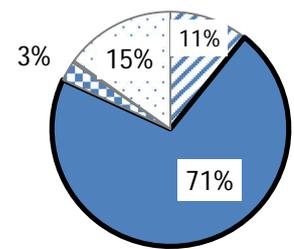


n = 291

## 2 HIV感染者・エイズ患者の性別、感染経路別報告数

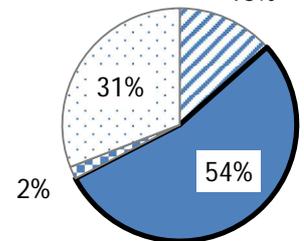
診断区分	感染経路	性別		合計	割合
		男性	女性		
HIV感染者	異性間性的接触	72	18	90	13.5%
	同性間性的接触	476	0	476	71.2%
	静注薬物使用	1	1	2	0.3%
	母子感染	0	0	0	0.0%
	その他・不明	100	1	101	15.1%
	計	649	20	669	
エイズ患者	異性間性的接触	39	5	44	15.1%
	同性間性的接触	157	0	157	54.0%
	静注薬物使用	0	0	0	0.0%
	母子感染	0	0	0	0.0%
	その他・不明	86	4	90	30.9%
	計	282	9	291	

【HIV感染者】



n = 632

【エイズ患者】



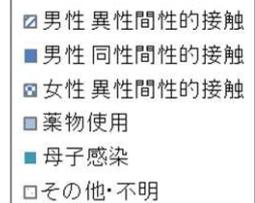
n = 252

HIV感染者では、同性間性的接触が476件と最多であり、全体の約7割を占める。

エイズ患者では、同性間性的接触が157件と最多であり、全体の約5割を占める。

同性間性的接触には、両性間性的接触を含む。

その他には、複数の原因が重複したもの等が含まれる。



# 熊本県のHIV感染者・エイズ患者等の状況 - 1

## 【HIV感染者・エイズ患者の新規報告数】

令和6年(2024年)12月末現在

	~S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
HIV感染者	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	3	2	4	1
エイズ患者	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0
合計	1	0	0	3	0	1	0	0	1	0	3	4	3	5	1

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
HIV感染者	1	5	4	4	5	7	10	1	6	5	7	5	3	14	10
エイズ患者	3	0	2	2	6	5	7	5	5	3	2	6	3	5	2
合計	4	5	6	6	11	12	17	6	11	8	9	11	6	19	12

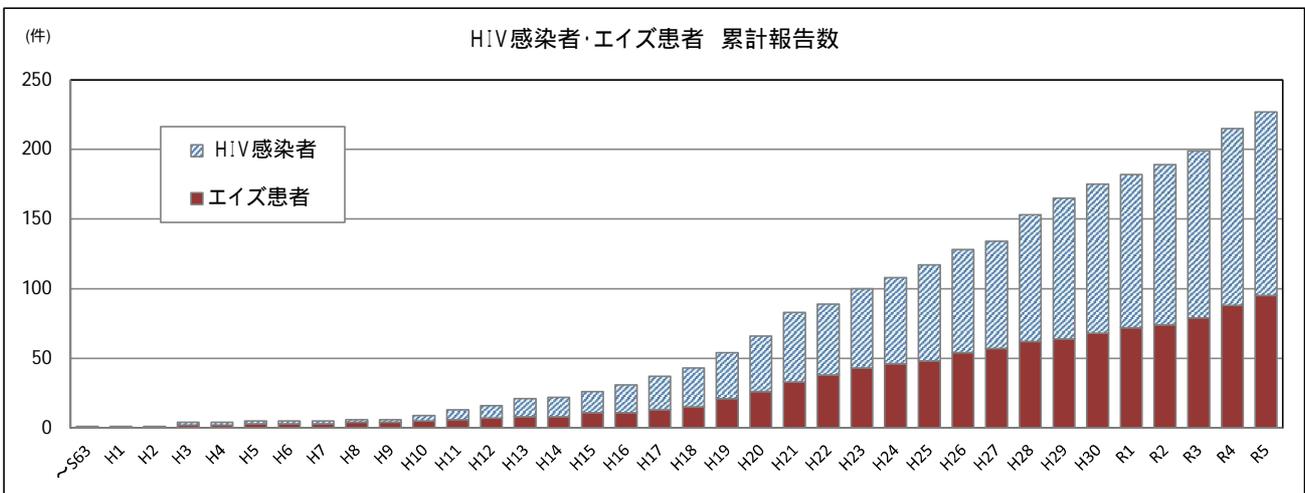
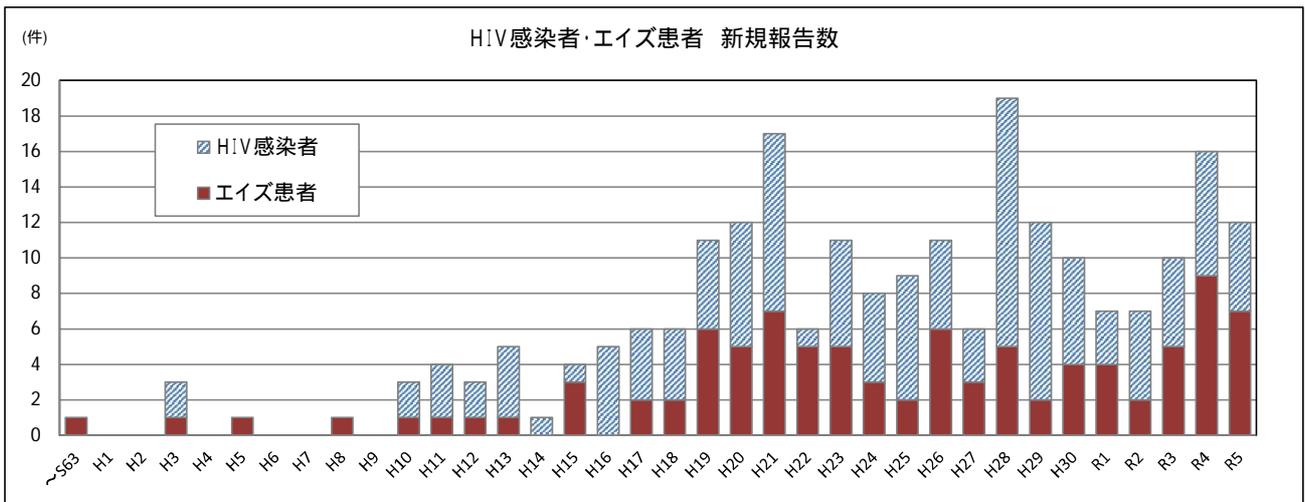
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合計	R6
HIV感染者	6	3	5	5	7	5	132	7
エイズ患者	4	4	2	5	9	7	95	2
合計	10	7	7	10	16	12	227	9

R6は第52週(R6.12.23 ~ R6.12.29)時点

令和5年のHIV感染者は5人であり、令和4年から2人減少した。

令和5年のエイズ患者は7人であり、令和4年から2人減少した。

令和5年の新規報告件数に占めるエイズ患者の割合は58.3%（直近5か年：51.9%）



# 【エイズ相談及びHIV抗体検査実施件数】

令和6年(2024年)12月末現在

( )内は県保健所分の数

年	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16
検査件数	30	101	1,383	1,324	850	615	794	474	498	528	619	785	655	(119)	(192)
相談件数	58	203	2,175	1,896	1,293	1,067	2,014	739	777	766	953	1,057	893	(205)	(380)

年	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
検査件数	(311)	(385)	(523)	(763)	(488)	(366)	(438)	(391)	(528)	(463)	(337)	(386)	(439)	(407)	(461)
相談件数	(209)	(602)	(739)	(975)	(588)	(432)	(539)	(498)	(620)	(525)	(503)	(393)	(110)	(77)	(61)

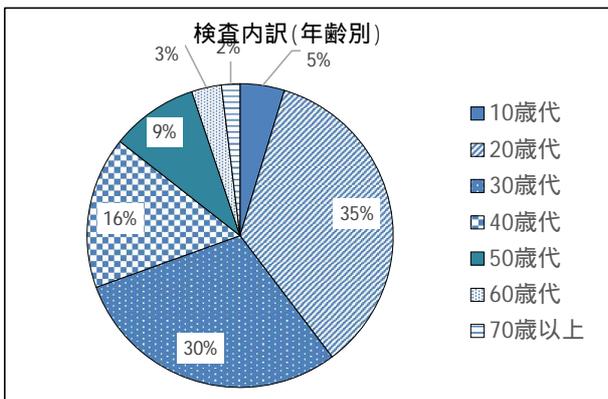
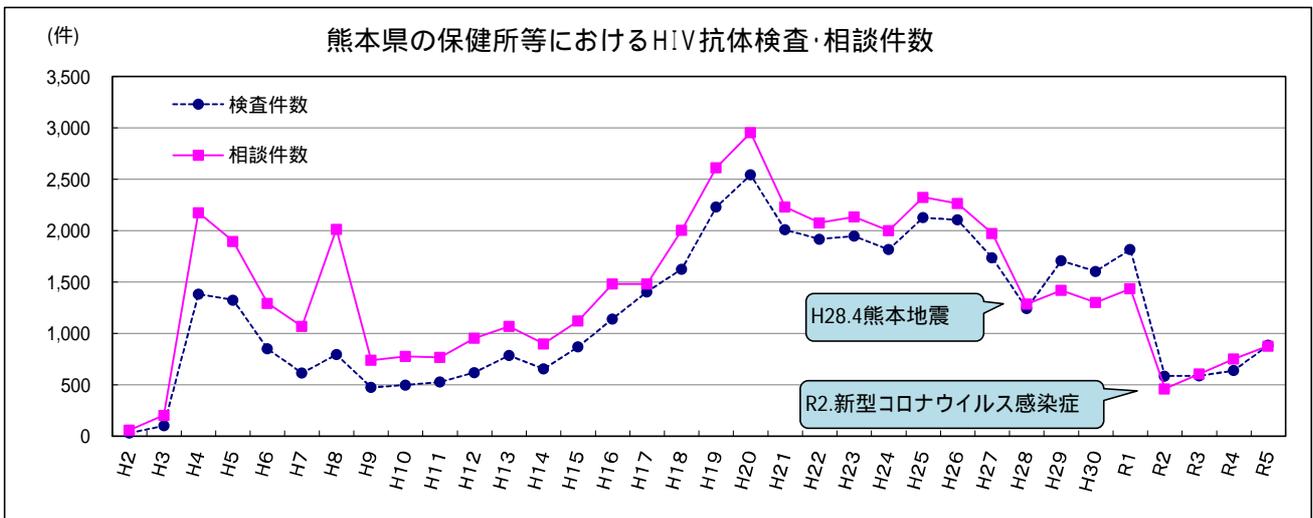
年	R2	R3	R4	R5	R6
検査件数	(227)	(81)	(6)	(233)	(237)
相談件数	(94)	(75)	(69)	(161)	(263)

R6は12月末時点

令和5年の検査件数は885件（うち県保健所分は233件）であり、令和4年から246件増加した。

令和5年の相談件数は877件（うち県保健所分は161件）であり、令和4年から126件増加した。

令和2年以降新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小・休止していた県保健所検査を令和5年6月から順次再開した。



# 熊本県のHIV感染者・エイズ患者の状況 - 2

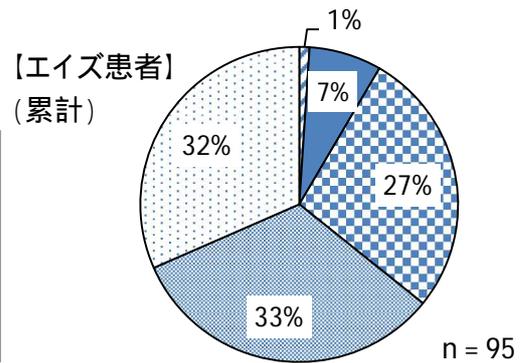
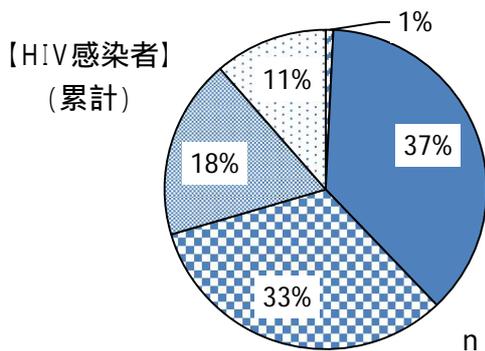
令和6年(2024年)12月末現在

## 1 HIV感染者・エイズ患者の年齢階級別報告数

年齢階級	HIV感染者		エイズ患者		合計	
	R5	累計	R5	累計	R5	累計
20歳未満	0	1	0	1	0	2
20～29	2	49	1	7	3	56
30～39	2	43	1	26	3	69
40～49	1	24	3	31	4	55
50～59	0	15	2	30	2	45
合計	5	132	7	95	12	227

HIV感染者では、20歳代・30歳代が最も多く、次に40歳代が続く。

エイズ患者では、30歳以上が多い。

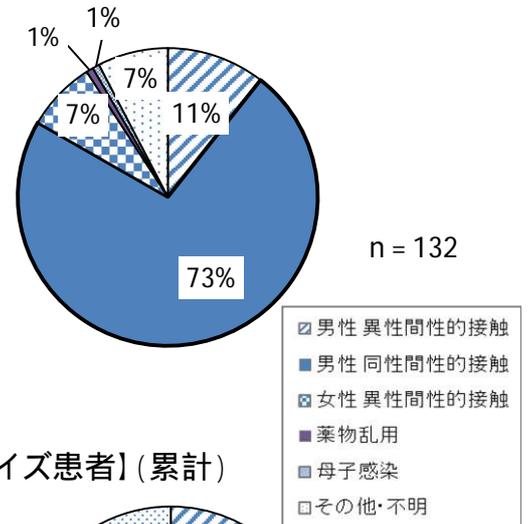


## 2 HIV感染者・エイズ患者の性別、感染経路別報告数

### (1) HIV感染者

性別	男性		女性		合計	
	R5	累計	R5	累計	R5	累計
異性間性的接触	1	14	0	10	1	24
同性間性的接触	4	96	0	0	4	96
薬物濫用	0	1	0	0	0	1
母子感染	0	1	0	0	0	1
その他・不明	0	9	0	1	0	10
合計	5	121	0	11	5	132

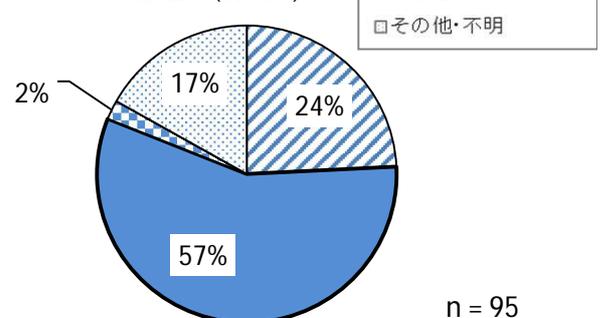
### 【HIV感染者】(累計)



### (2) エイズ患者

性別	男性		女性		合計	
	R5	累計	R5	累計	R5	累計
異性間性的接触	2	23	0	2	2	25
同性間性的接触	3	54	0	0	3	54
薬物濫用	0	0	0	0	0	0
母子感染	0	0	0	0	0	0
その他・不明	2	14	0	2	2	16
合計	7	91	0	4	7	95

### 【エイズ患者】(累計)



HIV感染者では、同性間性的接触が96件と最多であり、全体の約7割を占める。

エイズ患者では、同性間性的接触が54件と最多であり、全体の約6割を占める。

同性間性的接触には、両性間性的接触を含む。

その他には、複数の原因が重複したもの等が含まれる。

# 熊本県の性感染症発生状況

## 1. 発生件数の推移

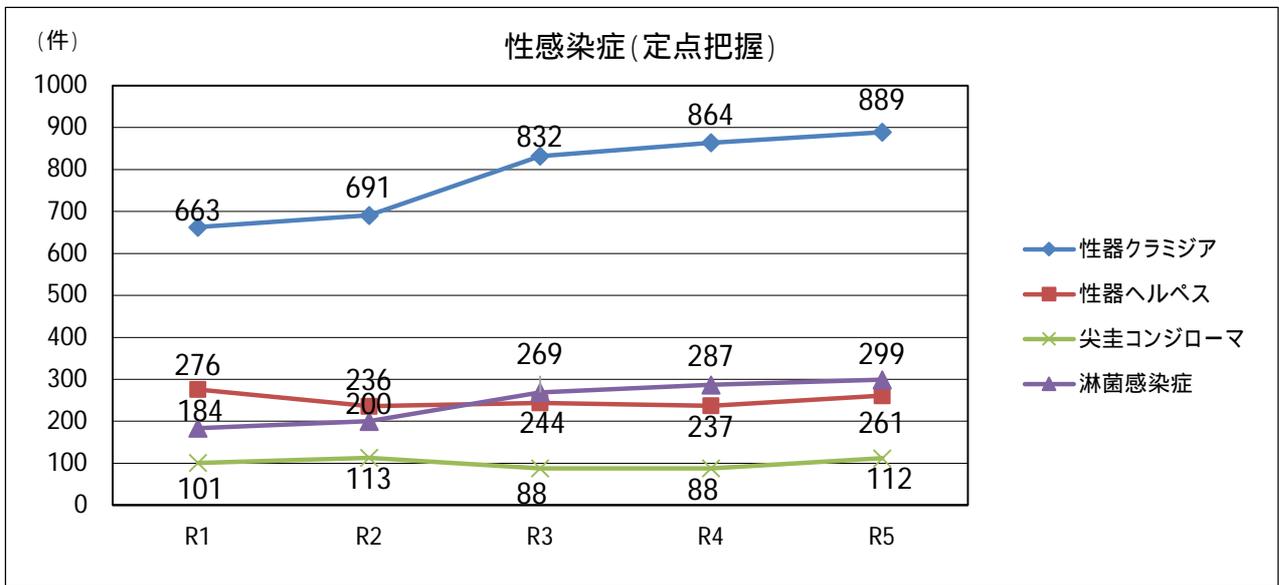
		R1	R2	R3	R4	R5	定点当たり件数(R5)		【参考】 R6
							熊本県	全国	
定点把握 STD定点 (定点数: 16)	性器クラミジア (定点あたり件数)	663 41.44	691 43.19	832 52.00	864 54.00	889	55.56	-	881
	性器ヘルペス (定点あたり件数)	276 17.25	236 14.75	244 15.25	237 14.81	261	16.31	-	248
	尖圭コンジローマ (定点あたり件数)	101 6.31	113 7.06	88 5.50	88 5.50	112	7.00	-	115
	淋菌感染症 (定点あたり件数)	184 11.50	200 12.50	269 16.81	287 17.94	299	18.69	-	292
全数把握	梅毒 (罹患率人口10万対)	135 (7.72)	137 (7.89)	129 (7.52)	207 (12.05)	250	(人口10万対の数値) 14.63 12.11		231

定点把握：STD定点から月1回の報告により、発生状況を把握

定点医療機関数：16医療機関

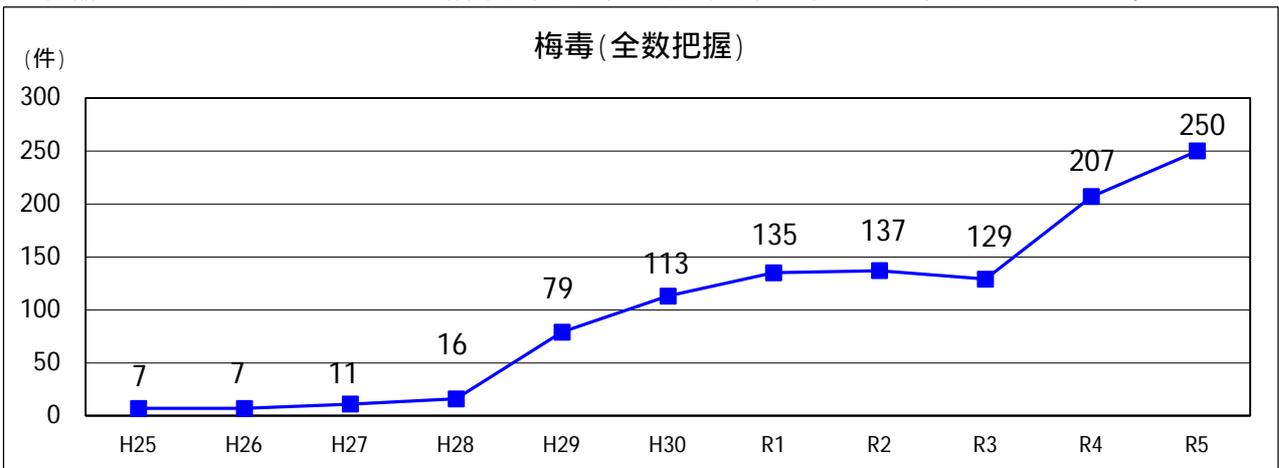
全数把握：梅毒は、診断した医師から7日以内の届出により把握

R6は速報値  
(梅毒はR6第52週時点)



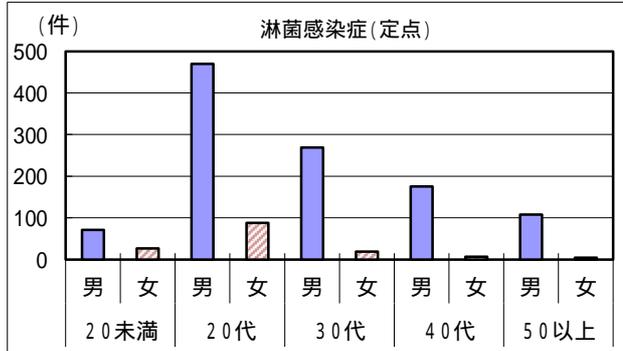
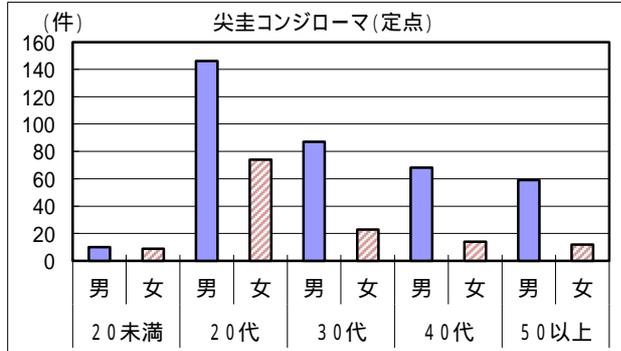
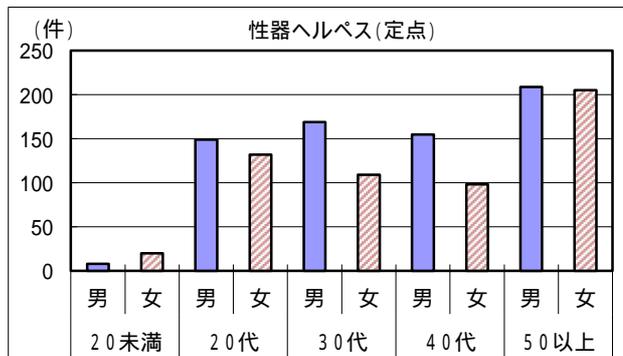
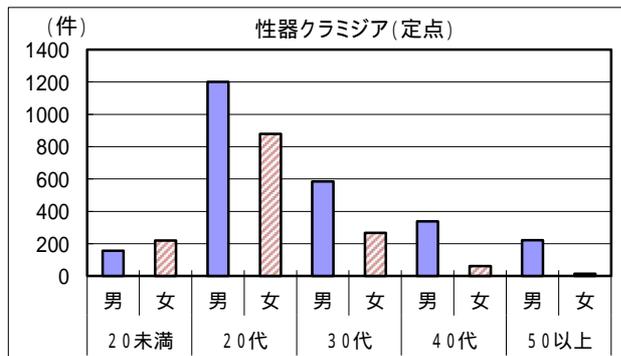
性器クラミジアは増加傾向であり、特に令和3年の増加率が高くなっている。

性器ヘルペス・尖圭コンジローマ・淋菌感染症は、ここ数年は概ね横ばいの状況が続いている。



梅毒は平成29年に急増して以降、報告数が多い状況が続いており、令和5年は250件と過去最多の報告数となっている。また、令和6年は第52週時点で231件と過去最多の報告数だったR5年に次いで、過去2番目の報告数となっている。

## 2. 定点把握4疾患の年齢別・男女別件数(過去5年間(R1~R5)総数)



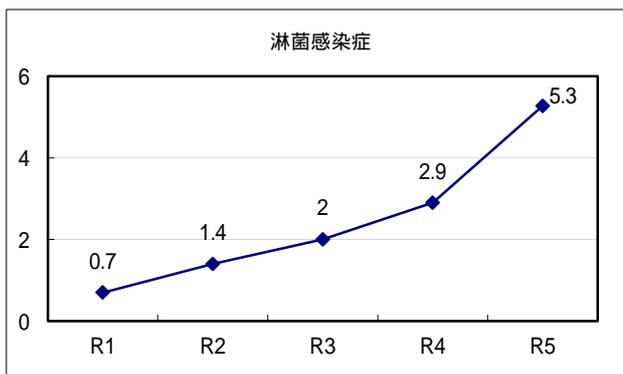
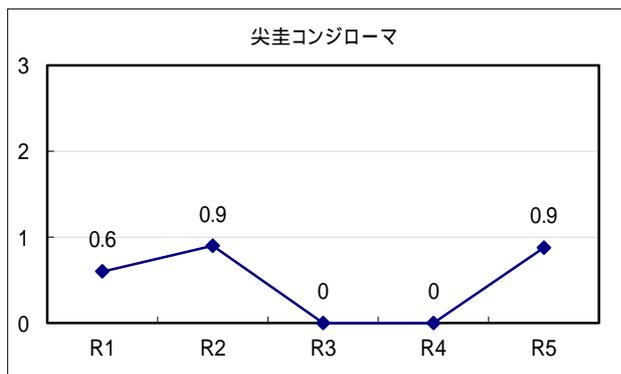
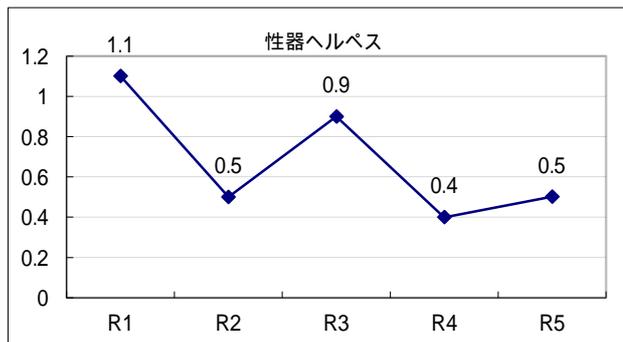
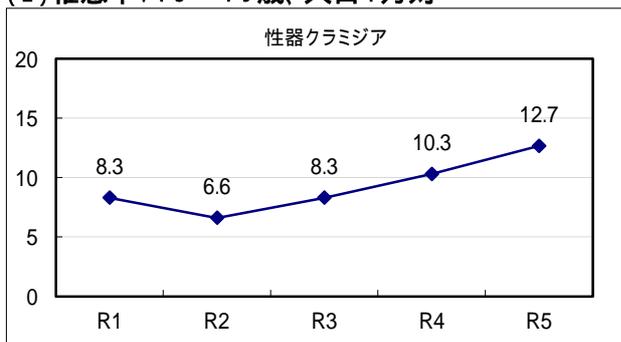
4疾患総じて20~30歳代が多く、男性の報告数が多いが、性器ヘルペスにおいては、幅広い年代から男女ともに報告が上がっている。

## 3. 10代の発生状況

### (1) 発生件数(定点)

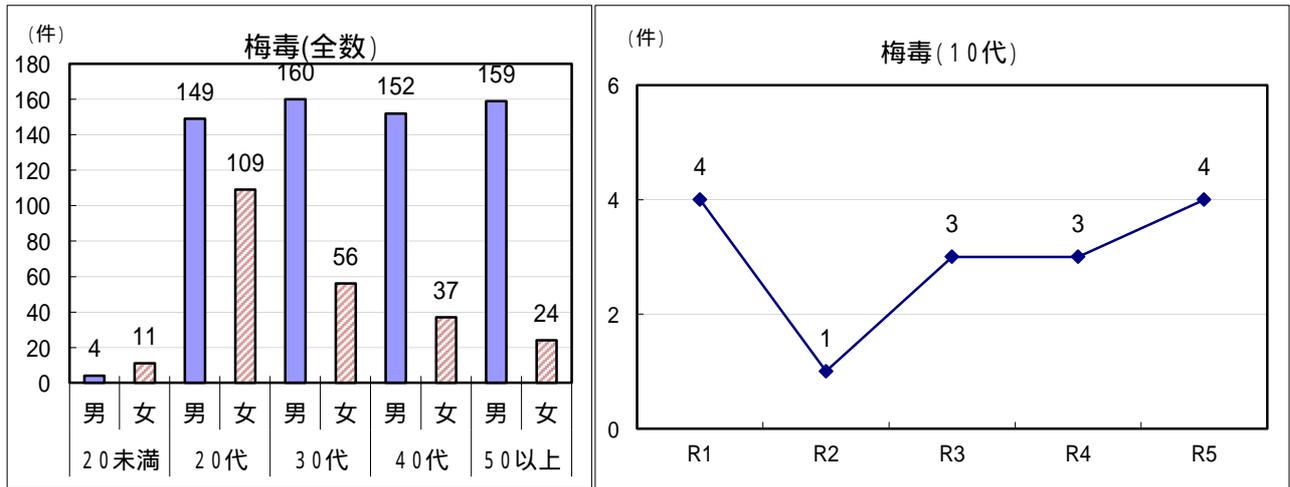
	R1			R2			R3			R4			R5		
	10-14	15-19	計												
性器クラミジア	0	69	69	0	53	53	0	66	66	0	82	82	3	101	104
性器ヘルペス	0	9	9	0	4	4	0	7	7	0	3	3	0	4	4
尖圭コンジローマ	0	5	5	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	7	7
淋菌感染症	0	6	6	0	11	11	0	16	16	0	23	23	0	42	42

### (2) 罹患率: 15~19歳、人口1万対



性器ヘルペス及び尖圭コンジローマは年によって報告数にばらつきがあるが、性器クラミジア及び淋菌感染症は近年、増加傾向にある。

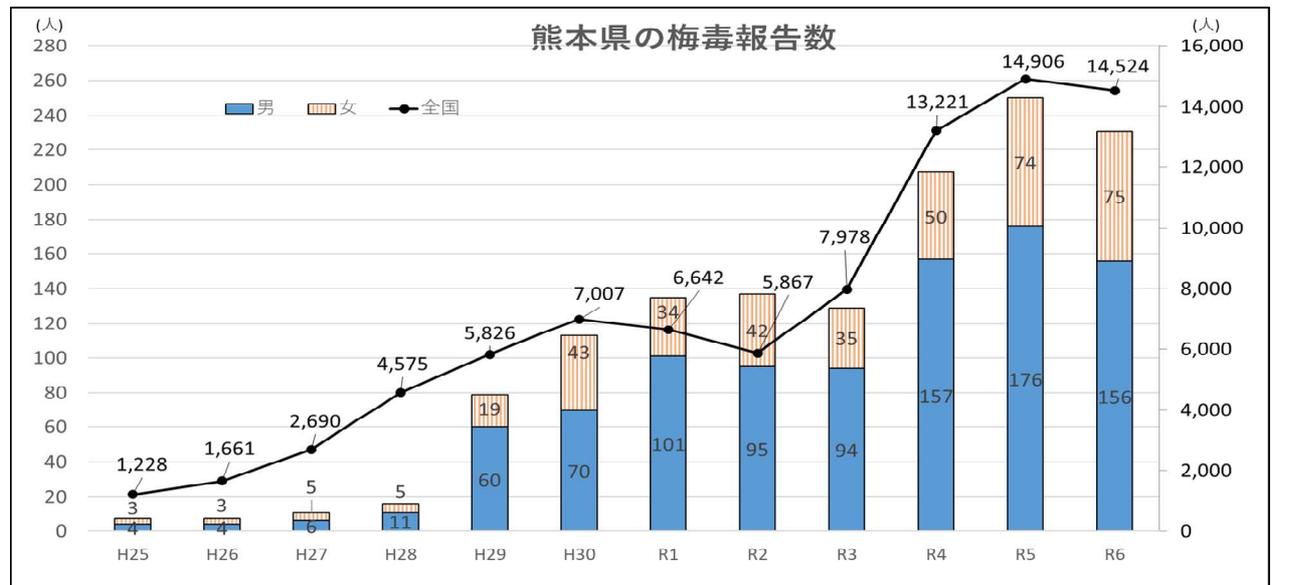
#### 4. 梅毒年齢別・男女別件数(過去5年間(R1～R5)総数)



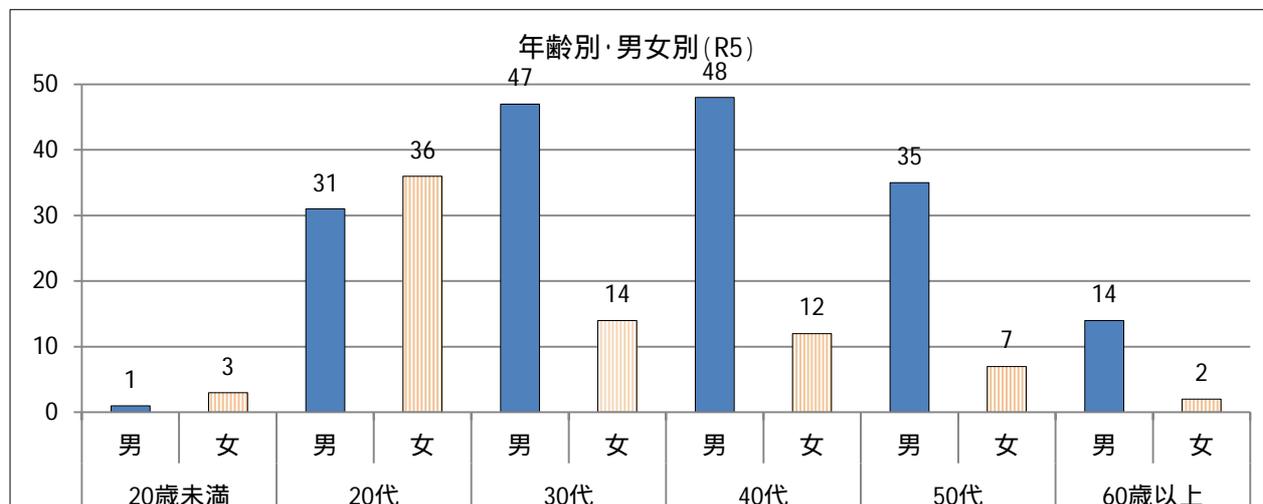
女性は20歳～30代、男性は20歳代から50歳以上まで幅広い層に多い。

### <参考> 梅毒の情報

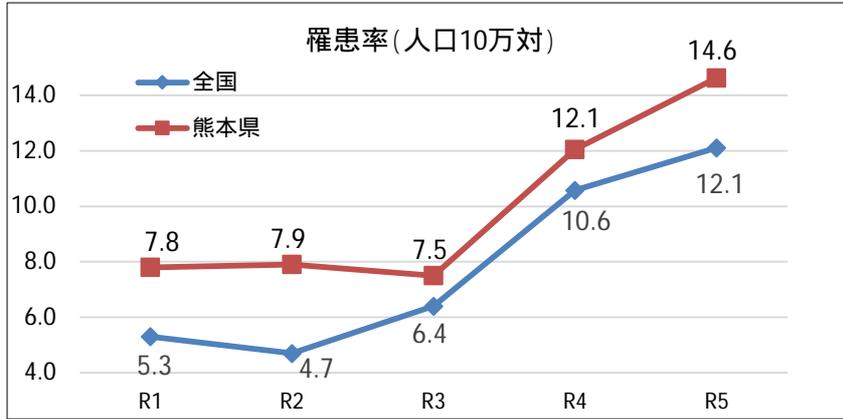
#### 1. 梅毒の報告数の推移及び年齢別・男女別件数



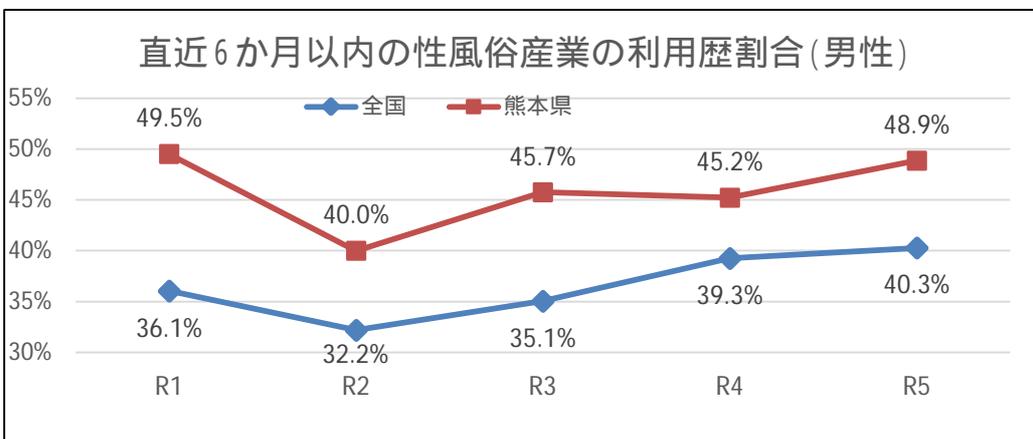
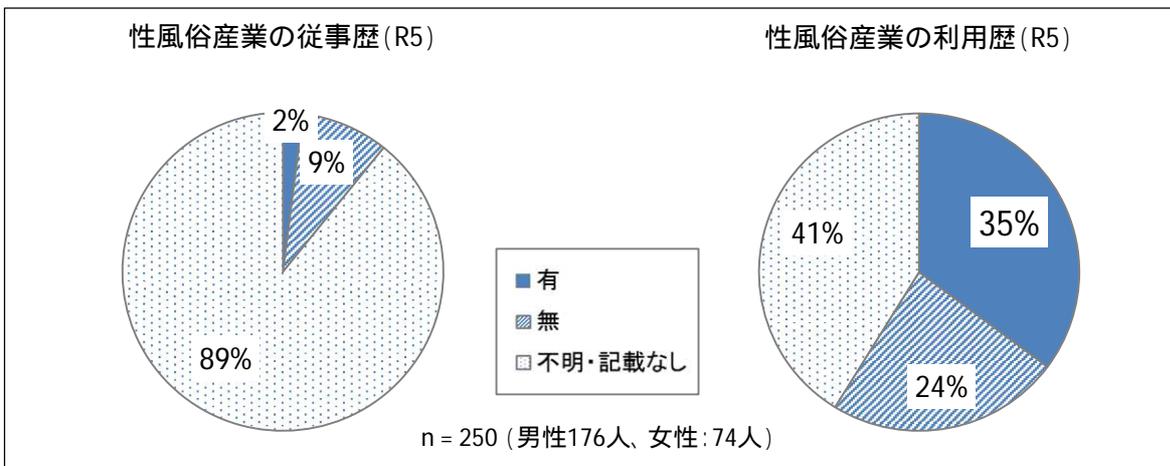
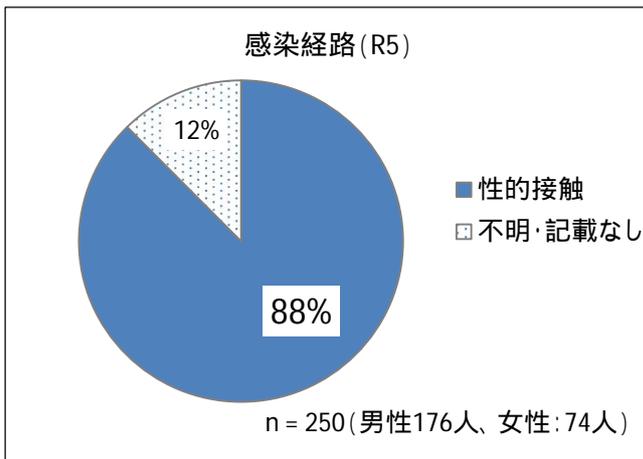
R6は第52週時点



## 2. 梅毒の罹患率の推移



## 3. 梅毒の感染経路



# 令和6年度(2024年度)におけるエイズ対策の取組みについて

健康危機管理課所管分

## エイズ対策会議

エイズ等に関する情報共有、  
対策について協議

令和7年(2025年)1月21日(火)に開催

## 感染予防や早期発見の推進

### 普及啓発

HIV検査普及週間(6/1~  
6/7)、世界エイズデー(12/1)  
を中心とした普及啓発

正しい知識に関する広報(県ホームページ等)  
パネルやポスター、チラシの設置  
(各保健所・地域振興局ロビー、県庁地下展示等)

若年層を対象とした啓発

○中学校・高校へのポスターやパンフレットの配布

**拡充**

○検索ワードや年齢・性別で対象者を絞った**SNS広告**を実施  
学校、医療機関、行政等へのポスターやパンフレットの配布

その他の普及啓発

### 検査・相談

保健所での検査・相談

保健所で検査・相談事業を実施  
(HIV、梅毒、B・C型肝炎、HTLV-1)

**拡充**

医療機関での検査

○県内の**29医療機関**でHIV・梅毒の検査を実施

### 保健所職員の人材

研修派遣・研修開催

オンライン研修(各自参加)  
○保健所担当者向け研修会実施予定

## 医療提供体制の強化

### 医療体制の整備等

針刺し切創・皮膚粘膜  
曝露後の抗HIV薬配置

7医療機関に配置

〔・熊本大学病院      ・くもと県北病院  
・熊本総合病院      ・人吉医療センター  
・天草中央総合病院   ・阿蘇医療センター  
・水俣市立総合医療センター〕

人材育成

九州ブロック研修会等(オンラインでの開催)

拠点病院に対する支援

エイズ治療にかかる医療提供体制の確保  
中核拠点病院:熊本大学病院  
拠点病院:国立病院機構熊本医療センター、熊本市民病院  
エイズカウンセラー派遣  
熊本大学病院に**年56回**派遣  
上記以外は、熊本大学病院がエイズ予防財団事業を活用しカウンセラーを配置

**拡充**

歯科医療体制の構築

熊本県歯科医師会と連携し、「**HIV陽性者一般歯科治療受け入れ可能  
診療所リスト(県内18か所)**」を作成

## 令和6年度(2024年度)におけるエイズ対策の取組みについて

### 【私学振興課】

事業名等	事業の概要
私立高等学校等経常費助成補助事業	通常のカリキュラムにはないもので、将来にわたる健康生活の確立を目標とし、それに必要な科学的認識を深め、健康的な生活行動が実践できる態度・能力を身に付けるための教育活動を行った場合に、補助金の加算を行う。
	課題・今後の取組方針等

### 【子ども未来課】

事業名等	事業の概要
プレコンセプションケア普及啓発推進事業	<p>○高校生に対して、生命の尊さ、性感染症予防、妊娠の仕組みや妊孕性等についての正しい知識を普及するため、医師や助産師等に講師を依頼し、学校保健と連携した思春期保健教育講演会を20校で実施。</p> <p>○熊本県女性相談センターにおいて、妊娠や出産に関することや思春期の性に関する悩みの相談を受け、個々の事情に応じた相談支援を実施。</p> <p>○思春期相談窓口周知カードを作成し、県内全ての高校に協力いただき、夏休み前に生徒に配布。</p>
	課題・今後の取組方針等
	思春期保健関係者連絡会を開催し、事業評価及び今後の取組みの方向性についての検討を行い、県内の高校を対象とした思春期保健教育講演会等の取組みを継続して実施する。

〔体育保健課〕

事業名等	事業の概要
各学校におけるエイズ・性感染症に関する教育活動	<p>教科</p> <p>〔小学校〕体育科保健領域において、学習指導要領ではエイズ及び性感染症に関する内容は記載されていないので、取り扱っていない。</p> <p>〔中学校〕保健体育科の保健分野において、第3学年の「健康な生活と疾病の予防」の中で取り扱っている。</p> <p>〔高等学校〕保健体育科の科目保健において、入学年次の「現代社会と健康」の中で取り扱っている。</p> <p>その他</p> <p>学級活動、総合的な学習(探究)の時間及び学校行事等(性教育講演会)、学校の教育活動全体を通して性に関する内容が取り扱われている。</p>
	<p>課題・今後の取組方針等</p>
	<p>学校における性に関する指導については、以下の4点に留意して行っている。</p> <p>(1) 発達の段階を踏まえること</p> <p>(2) 学校全体で共通理解を図ること</p> <p>(3) 保護者の理解を得ること</p> <p>(4) 集団指導と個別指導の連携を密にして効果的に行うこと</p> <p>このことに基づき、各学校においては、引き続きエイズ・性感染症に関する指導を行っていく。</p>
事業名等	事業の概要
性に関するイベント等の各学校への周知	<p>子ども未来課からの依頼を受け、思春期相談窓口周知カードを配付している。また、世界エイズデーやHIV検査普及週間等について、県立及び各市町村立の小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、特別支援学校に周知を図っている。</p>
	<p>課題・今後の取組方針等</p>
	<p>今後も各種イベント等の周知をとおして、児童生徒への啓発に努めていく。</p>
事業名等	事業の概要
思春期保健教育講演会 (子ども未来課と連携で実施)	<p>県立、私立の高等学校27校を対象に、生命の尊さをはじめ、性感染症の予防、妊娠のしくみ及び妊孕性(にんようせい)に関する正しい知識の醸成など、生徒の実態に応じた講演会に、専門の講師を派遣している。</p>
	<p>課題・今後の取組方針等</p>
	<p>講演会に対する保護者の参加数低迷が課題である。</p> <p>今後も、各学校において講師との事前打ち合わせを充実させ、児童生徒の実態に応じた講演会となるよう指導するとともに、保護者の参加についても呼びかけていきたい。</p>

[熊本市]

事業名等	事業の概要
熊本市エイズ総合対策推進会議	<p>目的 エイズについての正しい知識の普及啓発の在り方を総合的に検討し、エイズに対する偏見や差別のない「健康と生命(いのち)」を大切にす るまちづくりに寄与する。 10月22日開催済。</p>
	<p>課題・今後の取組方針等</p>
	<p>正しい知識の普及啓発と検査体制の整備を主な取り組みとしており、会 議での提案や意見を、今後の対策に活用していく。</p>
事業名等	事業の概要
検査・相談事業	<p>・保健所における相談対応、検査実施 ・検査内容 HIV即日検査(希望者には梅毒検査も合わせて実施) ・実施日 毎週火曜日～木曜日の午前中 ・予約制(WE Bまたは電話)、検査前説明をYouTubeで動画配信(Web予 約者のみ) ・その他、「HIV検査普及週間」及び「世界エイズデー」に合わせて、休日 に特例検査を実施 (R6年度は6月実施済(18名受検)、12月実施済(19名受検))</p>
	<p>課題・今後の取組方針等</p>
	<p>・ハイリスク者をターゲットとした検査機会の拡充を図る。 ・民間医療機関へのHIV検査業務委託を検討。</p>
事業名等	事業の概要
正しい知識の普及啓発	<p>・啓発物の作成、配布 ・高校・専門学校への講師派遣(泌尿器科医、産婦人科医等の専門医に よる性感染症予防講座) ・中学生を対象した出前講座(保健所職員による性感染症予防講座) ・市ホームページ、ラジオ、広報誌、SNS等を利用した広報活動を実施 ・熊本大学のボランティアグループの学生と協力し、啓発物の作成や学 園祭での啓発活動を実施 ・「HIV検査普及週間」及び「世界エイズデー」に合わせて啓発パネル展 を実施 ・「HIV検査普及週間」及び「世界エイズデー」に合わせて熊本城天守閣 のライトアップ(赤色) ・世界エイズデーポスター配布(学校、事業所、医療機関等)</p>
	<p>課題・今後の取組方針等</p>
	<p>・PrEPなど最新情報の提供。 ・若年層を対象とした性感染症に関する正しい知識、予防法の普及啓 発。 ・講師派遣事業の促進。</p>
事業名等	事業の概要
職員の人材育成	<p>各種研修に参加 ・HIV/エイズ基礎研修会(1名) ・HIV検査相談研修会(1名) ・青少年エイズ対策研修会(2名) ・九州ブロックエイズ拠点病院研修会(3名) ・エイズ対策研修会(1名)</p>
	<p>課題・今後の取組方針等</p>
	<p>オンラインで開催される研修が増え、参加しやすくなったことから、今後も 積極的に参加し、職員(相談員)のスキルアップを図る。</p>